

私の決心

これら施策の実現のために、とにかく私は働きます。

[市内公共事業編] (一部抜粋)

道路

県道小城富士線

●北浦区間(温泉橋から長崎自動車道まで)はスマートインターの完成に合わせて平成29年度事業完了を目指し、現道西側の歩道設置が決まりました。目標達成に向けて大幅予算を確保し急ピッチで進めて参ります。

県道小城杉山線

●県道小城杉山線の馬場地区間の車道を拡幅します。

●石体橋周辺の県道の残地を利用して駐車場も兼ねた親水公園ができればと思います。

●岩松小学校南の一部未改良部分も別に諦めているわけでは決してありません。

県道小城駅千葉公園線

●須賀神社周辺はその景観に相応しい姿で早急に完成させます。

●本町区間は3期工事を早ければ7年、遅くとも9年で終了し、残す小城駅までの間の既存歩道のお化粧をします。

県道小城天山公園線

●未事業区間であるこの線の特に出分交差点から寒気橋までの間にきちんと歩道を設置し、出分交差点の本格改良が実現できるよう強力に働きかけて参ります!!

旧広域農道

●無事に旧広域農道(佐賀県農協三里支所から三日月小学校西交差点までの間)は来年4月をもって県道に昇格させることが出来ました。そこでまず私は長神田交差点の改良工事を実施し、その後東西に歩道の建設を進めて参ります。



副知事と旧広域農道県道昇格について合意成立

国道203号線

●大寺区間(小城市役所前から長神田交差点までの間)の西側に歩道を作ります。

佐賀外環状線

●五条交差点から徳万交差点までの間に県道西側に歩道が整備されるべきであると思います。地域の声をしっかり聴いた上で進めて参ります。

国道207号線

●県庁前の貫通道路も佐賀市及び杵島郡は完成の域です。しかし小城市内(徳万交差点から前満江交差点までの間)に至っては一部交差点の改良の実施というにすぎません。県の重要な幹線です。他地区並みに道路改良の実施を求めています。

●前満江交差点の改良は時間がかかり過ぎです。速やかな実施を県国道事務所に求めています。

●本町交差点の改良工事の事業認可を取得し、先三差路までの間の両側歩道の整備をします。

別府牛津停車場線

●牛津駅周辺(駅前から六間橋迄の間)の南側歩道を設置し、周辺道路の舗装をします。

多久牛津停車場線

●晴気川左岸の堤防管理用道路と兼用している三里区間、特に門前地区より南の交通環境を改善するため防草用のコンクリートを両側に打設します。

交通

●平成28年度に80戸の市営住宅がJR牛津駅南に建設されます。この駅南地区はこれからの牛津町の発展には欠かせないエリアです。これと併せて駅南口の開設を考えていくべきです。また市民の皆様の熱烈な要望である快速電車の牛津駅停車について、JRに対し私も皆さんと一緒に一生懸命働きかけて参ります。

港湾

●県営住之江港のもの上げ場の利便性を飛躍的に向上させるため周回道路を建設します。頑張ります!



副知事等と住之江港湾問題について大激論

●台風や高潮から大切な船を守るため、駐船場を建設しています。

農業土木

●老朽化した晴田土地改良区の配管網の整備環境を整えて参りますし、補助率の増率に向けて私が県と各市町との間の調整に入ります。

●牛津排水機場建設に伴う県営地盤沈下対策事業(大字勝区)他小城市営農業体質強化事業(門前地区)もようやく中盤戦になりました。残す3か年で必ず周辺の水路整備を終え、ポンプ場を稼働させることによって雨季の水害から当地区を守って参ります。

●芦刈町のブロックマットによるクリーク防災事業施工箇所が管理上の問題を抱えながらすでに機能不全に陥っています。これら補修については損壊の原因をよく調べ、原因の除去を図った上で農地・水・環境とは別建ての補助事業を創設できるよう一生懸命働きかけて参ります。

交通安全

●芦刈町始まって以来の4車線道路、この江北芦刈線を通る車両から芦刈観瀾校の児童生徒を守るため歩道橋を設置します。



交通安全施設の改修について、現地立ち会い

●ずいぶん市内の県道も整備されて交通の安全度も上がって来ました。そこで事業完了区間の速度制限の在り方について議論していきたいと思っています。

[県政編] (一部抜粋)

医療

●『癌』という病からいよいよ佐賀県民を守ります。無事に県立病院好生館は竣工しましたし、九州重粒子線がん治療センターは素晴らしい治療成績で結果を出し始めました。しかし今なお、佐賀県民は『癌』の死亡率が全国トップクラスです。私は改めて佐賀メディカルセンター好生館に付属の『癌』センターを建設し、また在宅等で『癌』等に向き合う患者・家族に必要な情報がすぐ届き、支援できるような医療情報・支援センターが設置できるよう取り組みます。



好生館の記念式典で挨拶する副議長

教育

●本県教育委員会も私の意見を受け入れてようやく正面から児童・生徒の学力低下問題に取り組みを開始しました。必ず本県の児童・生徒が、学ぶことの面白さや大切さを理解し、自発的に勉強する習慣作りを成功させた上で、全国学力学習状況調査における全国平均を超えさせたいと思います。

●発達障がい児が大変増えていることを心配しています。昨年この問題を解決するために三日月小・中学校を政府文部科学省のモデル地区に指定して頂きました。この答申を通じて佐賀県及び全国の学校における発達障がい児対策の本格強化を始めさせます。私は健常者及び障がい者ともに健やかな育ちを応援したいと思います。どんな障がいがあっても地域で普通に暮らせる世の中であるべきです。

●福祉の意味合いにおいて児童の放課後の見守りのために『放課後児童クラブ』が設置してありますが、これに教員のOBさんを積極活用して子供たちの学びを応援していきたいと思っています。

●とにかく先生が忙しい。通常の授業に加えて学校や部活動の運営、生徒指導、自閉症等新しい障がい児の登場など。学校の基本は学力の向上にあります。先生たちが児童の学びに集中できる環境づくりはとても大切なことです。過剰な負担を軽減させるため教員のOBさんを積極活用しながら様々な対策を講じていきます。

農業

●人口減少社会は農村集落から始まります。限界集落になる前に必要とあれば最低限の住宅開発が出来るよう、『農振及び農地法』の改正に向けて政府に粘り強く主張して参ります。

●私も家族も農協の正組合員であり、土地利用型農業(米・麦・大豆生産)を生業として生きてきました。現在の農業問題の本質は『米がとて安い』ということに尽きます。この問題の解決こそが米麦農家の暮らしを守り行く最大の責務と任じて県及び政府に対し強く主張し続けて参ります。

●農業機械があまりにも高い。しかし適切な補助事業が用意されていない場合がほとんどです。私は昨年、機械補助を受けるための『下限の目安』を抜本的に改めさせました。これを踏まえて『県単独の43%補助事業』を復活させたいと思います。



佐賀県農業農村振興議員連盟の副会長として農林省幹部に米価の下落問題について必死の要望

農業土木

●木柵によるクリーク防災事業を佐賀平野の全域にて始めました。しかし国営によるクリーク防災事業の予算が少なく中々進捗していません。事業予算の大幅増額を求めて政府・農林省に必死でかけ合って参りたいと思います。

●『米作り』の足を引っ張っているのが、公有水面における法面の草刈りです。高齢化した栽培農家にまたは大型化した担い手に、もうその体力も時間もありません。県及び市は公有水面の法面に『防草シート』を張って公有水面の維持管理から集落の人々を解放させるべきです。

文化・スポーツ

●佐賀市内に全く賑わいがありません。県立物産センター(県内の観光物産等の展示販売場)の再建と絡めて県立博物館や図書館等を建て替え、日本第一流の文化的複合施設の建設を通じて、この地域に圧倒的な賑わいを創出するべきです。

●若年納税者への還元施策の目玉がありません。普段ライブで見ることもない国内第一級のファッションショーや、コンサート等が誘致できれば若い者たちはみんなすごく喜ぶと思います。これらも私の仕事です。頑張ります。

●現在NHKでは朝の連ドラで『まっさん』が大流行です。しかし今なお、佐賀県の地方都市を舞台にした連ドラはあっておりません。佐賀県を舞台にしたドラマの放送は県民の悲願であり、私の悲願です。佐賀県と一体となってこれら実現のために今後とも努力を続けて参ります。

道路

●現在約2億円と60億円、これが本県と福岡県側の佐賀市以東の有明海沿岸道路における各国道事務所の予算の違いの実情です。平成30年度には福岡インターまで開通します。しかしこの道路は工事が佐賀市方向へと進捗して行かなければ、私たちにとって本質的な利便性の向上にはなりません。この建設予算獲得に向けて政府及び全国の有力国会議員の皆さんへ働きかけて参ります。

●ようやく203号バイパス(多久市一本松から旧パチンコ・パーラーバルーン周辺までの間)もほぼ地元同意も頂きました。私たち地域の願いです。必ず平成28年度には事業着手できるよう精一杯頑張ります。

交通

●九州新幹線西九州ルートは、平成34年の開業に向けて着々と工事は進捗しておりますが、私たちの願いは高架による別ルートの建設であり、フル規格による走行で、大阪・京都まで乗り換えなしで行けることです。事業実施の財源の目途が立っていません。財源の確保を求めて政府及びJRに対し『財政窮乏県に対する助成措置等』の施策の確立を粘り強く求めていきます。

●佐賀空港は生まれ変わりました。4年前に4便だった羽田便も今では成田も加えて一日6便運航しており、海外路線も上海及びソウルへ週6便を運航するまでになり、ついには国際線ターミナルビルまで整備致しました。国内外への旅行をもっと気楽に楽しめる時代を作っていくためにも、LCCによる台湾等の国際線の新路線開拓を積極的に進めて参ります。

実現の
藤木卓一郎

